

地域公共交通意見交換会（黒岩地区）

5月17日13時30分から、黒岩地区交流センターで、地域公共交通意見交換会が開催され、コミュニティバスに関する現状説明と、市と住民による意見交換が行われました。

概要

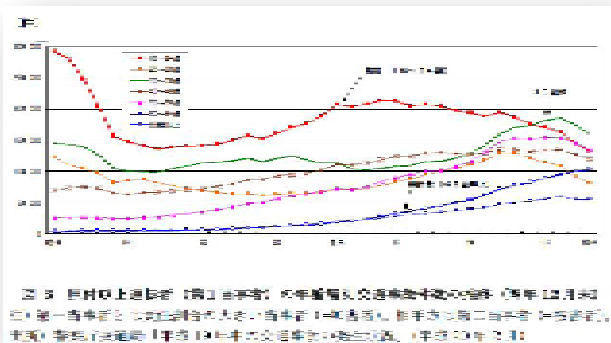
北上市企画部政策企画課より、あいさつと今回の意見交換会の趣旨説明がありました。

続いて、いわてNPO-NETサポートより、「バスを公共が担う理由として

1．地球環境・低炭素型社会の実現

1人の人間が動く際のCO₂排出量がバスは車の3割程度

2．交通事故の年代別推移

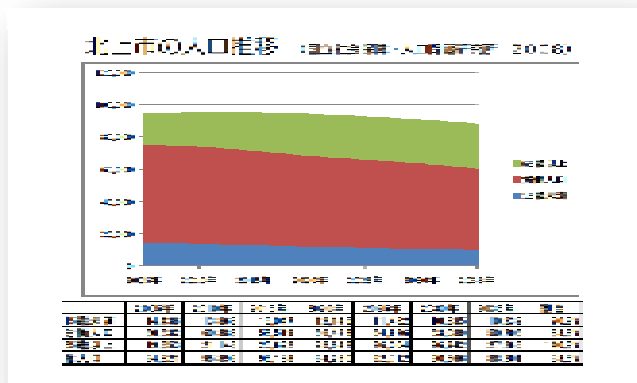


年々高齢者の事故率が上昇している

3．岩手県の人口推移

平成18年から30年間で岩手県の人口は、35万人減少（盛岡市と滝沢村を合わせたぐらいの人口）

4．北上市の人口推移



不況となり、だんだんと人口特に、（労働人口）は減ってきている。

5．国内旅客輸送量の分担率の変遷

乗用車が増えバスは減ってきている

6．バスの輸送人員の変遷

年々減少し、路線廃止も増加しているとの資料説明がありました。

その後、北上市企画部政策企画課より

「北上市では、21年度県立中部に繋がるコミュニティバスの路線が28000人乗ると見越していましたが、実際は22144人であり予定より約6000人少なく、金額にすると120万円の赤字の状況であります。

また、運行事業の収入内訳は利用者の運賃収入と市の補助金でまかなっています。昨年度の運行経費が、11,33万3千円でそのうち運賃収入は28%（金額にすると約300万円程度）

7割以上市の税金で補てんしています。

運行経費は人件費や車両整備費、ガソリン、自動車税などと県交通への管理費などが含まれています。

23年度運行の見通しとして、今までの運行を継続するのは難しいですがコミュニティバスが無くなるわけではありません。朝の第一便は、北上駅までの利用が多くそれ以降はほぼ使われていませんので、経路や運行曜日を大幅に変えることなく、効率的な運行を考えていきたいです。

今後、北上市の今後の公共交通のあり方として7月に勉強会をさせていただき10月頃からコミュニティバスの運行内容の変更についてまた皆さんと話し合いをし、23年度の変更内容をまとめていきたいです。」との現状説明がありました。

意見交換

説明が終わり、意見交換の時間には以下の意見が出されました

- ・何人乗ればバスは満員になるのか
- ・資料の数字から言うと、半分くらい席が空いているのか
- ・今のバスの大きさを、15人~20人乗りくらいにするとガソリンも維持費も少なくなるのでは
- ・冬はとにかく混んでいる
- ・月曜にバスが走るが、月曜は振り替え休日が多く役所も病院も休みで用が足せない
- ・沢目十文字まで来てほしいという人も多い
- ・八天の里から沢目公民館の方に抜けて、下組公民館に行けばいいのでは
- ・冬の間スクールバスを利用できればいいと思う
- ・農家が多いから冬になるとどうしてもバスに乗る率は高くなると思う
- ・中学生と一緒に乗ればコミュニティバスもうまくいくと思う
- ・第1便スクールバスと一緒にすれば経費が浮くのでは
- ・1回で済むところを2回も3回も運行する必要はないと思う
- ・塩釜公民館前でぐるっと回る所は具合が悪くなる
- ・立花の中村から昆沙門までほとんど人の乗降がないようだが、冬場はもっと増えるのでは
- ・黒岩はまんべんなく乗っているようだが、立花地区は遠回りしているのにあまり乗っていない
- ・朝一番の便が早すぎる
- ・冬は生協団地の方から乗り降りする人が結構多いので、時間がかかってしまう
- ・中部病院まで1時間かかる
- ・「とある一日の乗降状態」を見ると、2便・3便が多い
- ・利用者が少なくなったからといって、便数を少なくするという計画もあるのか
- ・利用者が少ないからといっても、バスが走っているのと走っていないのではだいぶ気持ちが違う
- ・あと100円あがってもいいから、十文字まできてほしい。あそこまで歩くのも大変だ
- ・フリー区間でいいと知っていても手を挙げられない

- ・運転が乱暴な人もいる
- ・黒岩地区は3分の1が高齢者だ。このコミュニティバスは高齢者のことを考えた運行をしてほしい

そして最後にいわてNPO-NETサポートより、「できることとできないことはあると思いますが、来年度からの運行体制の改善や、長期的な目線での改善など、いろいろなやり方があると思いますが、今日頂いた意見の中からできることはすぐやっていくという形で進めていきたいと考えております。」とのお話があり黒岩地区意見交換会が終了しました。

ちなみに、他の地区ではこのような意見がありました。

- ・少ない資金を有効に使ってほしい
- ・バス利用者が減ると赤字になり廃止になるかもしれないということを分かりやすく訴えるべきだ
- ・最終の時間が早いのもっと遅くしてほしい
- ・フリー区間が増えればいい
- ・停留所の名前だけではどこに行くのか分からない
- ・時刻表に路線図をいれたらいいのでは

